

アムンディ・マーケットレポート

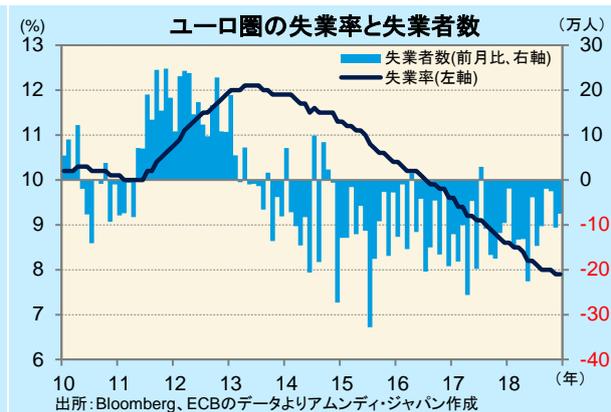
ユーロ圏の1月物価・12月雇用～ユーロ相場の展望

- ① 1月HICPは総合が前年同月比+1.4%、コアが同+1.1%。原油高の影響の剥落が続いています。
- ② 12月失業率は7.9%と前月比横ばいも、失業者数は17ヵ月連続減少で、約12年半ぶりの低水準です。
- ③ 米国で利上げと連銀総資産の削減の打ち止めが現実味を帯びており、ユーロを下支えすると考えます。

雇用環境は依然良好も低インフレ変わらず

Eurostat(EU統計局)が1日発表した1月のHICP(速報)は、総合が前年同月比+1.4%、コアは同+1.1%でした。エネルギーが同+2.6%と急速な鈍化(10月の同+10.7%がピーク)が背景となっており、基調を示すコアは依然として+1%を小幅に上下する動きが続いています。金融当局の目標(+2%弱)を、依然として大きく下回っている状況は変わりません。

また、31日発表された12月の失業率は7.9%と前月比横ばいでした。失業者数が前月比-7.5万人と17ヵ月連続で減少しました。イタリア、スペインで減少が目立ちました。失業者数は1291.9万人で、11月に06年6月以来約12年半ぶりに1300万人を割り込み、今回はそこからさらに減少した形です。ユーロ圏は景気減速が見られるものの、雇用環境は依然として良好です。

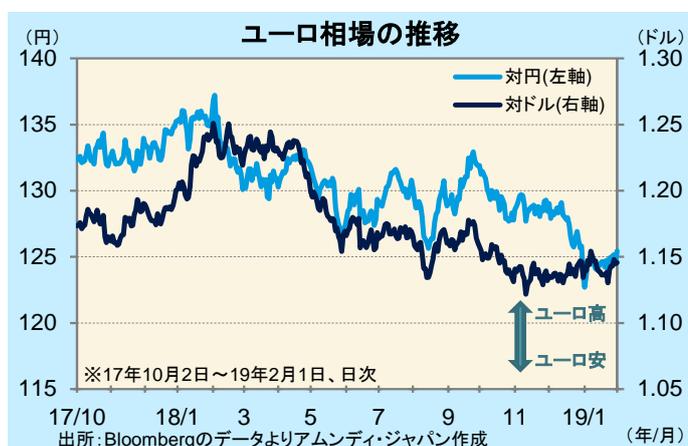


ドル安主導のユーロ持ち直しへ

ユーロ相場は、米国での利上げ継続による米国への投資資金シフトに加え、18年春以降早期に景気が減速し、市場の失望をかったこと、域内の政治不安やBrexit(英国のEU[欧州連合]離脱)交渉の停滞なども懸念材料となり、軟調な展開が続きました。

18年末頃から、底堅い相場展開が続いています。米国の利上げ打ち止めが接近しているとの見方に加え、米連邦準備銀行(連銀)の総資産削減も見直す可能性が高まり、当面はユーロが持ち直す展開が予想されます。

また、景気が底割れする可能性は低く、19年の実質GDP成長率は+1%台半ばと、潜在成長率並みを確保すると予想され、景気面からユーロが下押しするリスクは小さいと考えます。



本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。

本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。

本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、予想意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

リスクについて

・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意してあります。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<R1902015>